

町民ポスト

投函日 6/20

氏名 中西靖男

住所 東5線北28号

ご意見

インターネットインフラ整備について

上富良野町では、農村部のインターネットインフラに関してオーレンスという民間企業による無線方式を強力に推進していましたが、今回、NTTによる光通信網の配備が完了しつつあり、農村部においても光通信の環境が整備されてまいりました。

そこで質問ですが、

1. 上富良野町が強力に推奨していたオーレンスの無線方式による町内の実際のユーザー数（契約数）は現在何件でしょうか？

2. NTTの光通信網の配備計画は当時予想できていたと総務課の方から聞いていたがなぜ莫大なコストをかけてまでオーレンスの無線方式を強力に推進したのでしょうか？

3. オーレンスによる無線方式のユーザーが1軒でもある間は、行政の責任で運営を継続するのでしょうか？

4. NTTの光通信網の整備計画がオーレンスの無線方式計画以前から想定できたにもかかわらず他の周辺市町村とは異なったまったくの独自の無線方式を強力に推進してきたのはどのような合理的な理由があったのでしょうか？

5. 光通信網の整備計画が想定されたにもかかわらず、また、町民による無線方式に対する反対意見を無視してまで莫大なコストをかけてオーレンスの無線方式を強力に推進してきた上富良野町そして町長及び町議会議員の責任はどのようにお考えなのでしょうか？

回答

所管課

総務課

1点目の契約数については、当該インターネット接続サービスは、運営事業者として選定した民間通信事業者(株式会社オーレンス)により提供されています。契約件数は、運営事業者の営業情報ですが、現時点では100件を超える利用をいただいていると伺っています。

2点目から4点目の質問については、市街地を含むインターネット環境整備は、平成25年当時の状況として市街地エリアのみNTTによる民設民営による整備となり、周辺農村部については、当面の間整備が見込めず、市街地と農村部での情報通信環境格差が拡大することから、公設民営方式による固定系高速無線機を利用したネットワーク網の整備を行い、農村部の各戸宅において、現状より高速な固定系インターネットサービスを利用できるよう整備を進めたところです。

なお、6月16日にNTT東日本広報により、上富良野町内の農村部の一部でも7月1日以降光サービスが提供されるとアナウンスがりましたが、現時点においては、農村部全域をカバーするものではないと確認しています。

また、町が整備したネットワーク網についても、老朽化に伴う更新も必要となることから、将来においては、他のネットワーク網の整備状況などを勘案のうえ、必要な更新を行っていきます。

5点目の質問については、町が行う事務事業に関して、町民の方個々にいろいろなお意見があることは承知していますが、当該事業は、町内における情報通信環境の格差を改善するために行った事業でありますので、ご理解願います。